

## 可燃ごみ広域処理施設整備についての説明会 概要

日時：令和 3 年 1 月 24 日（日）

午後 3 時 00 分から午後 4 時 25 分

場所：岡山市南区豊成一丁目 4 番 1 号

岡南環境センター

出席者 事務局（環境局環境施設部環境施設課） 5 名ほか関係職員

地元地域からの参加者 15 名

### 主なご意見・ご質問

可燃ごみ広域処理施設整備について、事業者に求める要求水準の案について説明を行い、質疑応答が行われました。主な内容は以下のとおりです。（●は地域からの参加者、○は当局を示す。）

- 残さ資源化について、ストーカ+資源化には 20 年間分の灰の外部処理費用も入っているのか。処理方式と併せて 1.3 倍、1.5 倍などと書いてあるが。
- はい、その想定で含めて試算しています。
- 灰処理費、運搬費等の経費も含め細かい数字までエビデンスを出せ。1 か月あたりではどれくらいの費用か。
- 価格の根拠としては大学の研究論文を参考としています。
- 20 年間セメント原料化することについてセメント会社が引き取るという保証はあるのか。
- 灰の資源化の方法については様々な方法があるので、事業者の提案によるものと考えています。
- 灰のセメント資源化は他の都市でも実績があるのか。
- 様々なセメントメーカーで資源化している実績があります。自治体側でも灰のセメント原料化を依頼している実績があります。岡山市も岡南環境センターをはじめ、焼却灰についてセメント原料化を依頼しています。
- 灰には重金属が含まれるはずだが、それはどうしているのか。
- 資源化施設において、前処理を行っています。
- 埋立処分もすればよいではないか。資源化では絶対続かない。せいぜい 2, 3 年だろう。20 年間資源化するというエビデンスを出せ。
- 埋立処分としていないのは最終処分場の延命化の側面もあります。事業者へは 20 年間の資源化を求めていきます。

- 山上、空港らへんはまだあるんだから、処分場を作ればよい。それは努力すればよい。
- 山上にも住民がいる。さらには最終処分場建設時には反対していた。山上に処分場をつくり、山上へ持って行けばよいというような言い方は言いすぎでは。
- そうはいってない。作るよう努力をなさいと言っているだけだ。
- ごみの分別や、資源化の推進により最終処分場の延命化を図っています。そういった取り組みによりごみも減ると考えています。
- ごみを減量したいならシャフト炉にすればよい。それらを含めエビデンスをだせ。
- 二酸化炭素排出量等も含め比較検討しております。
- 某市で 300t 規模の焼却施設建設の際には、シャフト炉とストーカ炉で競争があり、わずか 9 億の差しかなかった。
- 一般的に考えて、こういう処理方式を採用するにあたっては、市の方で全国の様々な施設を調査して、コスト比較や検討をしてきたわけでしょう。現実的に各メーカーなどの見積を取って全部調べた上で今回採用されたわけじゃないんですかね。  
だからこの説明会の場では、どちらかといえばそのポイントではなく、地域住民に対しては環境問題の方が一番大きい。コストの話は 2 人でやってくれば良い。  
測定結果はどうやって公開しているのか。調査結果が載っているが、風向風速など、どういう想定をして場所を決めて測定しているのか、どういう方法で測定したのか。それがどこまで到達するのか。また、このような日常的に管理されているデータはネット等で公表されているのか。調査そのものはどう確認しているのか。市の職員は確認せず業者に丸投げしているのではないのか。市の職員が行って測れないのか。
- 測定的位置につきましては、風向風速等を測定し東西南北の測定位置を決めています。測定結果はホームページで公開しています。  
測定方法などは定められた方法があり、それに則って実施しています。今回お示ししている調査結果は、生活環境影響調査業務委託の中で実施しており専門の業者に委託しています。各測定にあたっては市職員が立会い、測定状況などを確認しています。
- 外部委託しているのか。信頼できる会社なのか。
- 信頼できる業者に委託しています。
- 豊浜町に環境測定地点が無いようだが、意図は。前回も言ったが。
- 現状実施している測定において周辺でも多数実施しており、数百メートルで数値が大きく変わることはないものと考えています。
- なぜしないのか。勝手なことを言うな。自然の力学にお前の考えは関係ない。どこでどうなるかわからない。今のコロナだってそうだろう。それと一緒にだ。
- 新施設においては今の設備機器とも変わってきますので、周辺の環境測定地点については自然条件により拡散をシミュレーションし、改めて検討するものと考えています。
- ならええ。最初からそう言え。蓄電池について、公会堂への設置は予定していないということだが考える余地はないのか。

- 指定避難所に電気を供給したいという思いで蓄電池の設置を考えています。
- 市の防災関連の部署が自主防災をしろと言っているんだから、協力し設置を検討してほしい。北側用地は避難人員はどのくらいになるのか。避難時に利用できるかまどなどは作らないのか。令和 8 年までに決めればええと思っとるじゃろう。災害はいつ来るかわからんぞ。
- 北側用地は令和 8 年 4 月までは借地契約をしているため、それまでに検討していきたいと考えています。これまでも説明している通り、焼却施設はごみを処理すると発電出来るため、北側用地においてもこの電気を活用できるのではないかと検討をしています。
- 施設の発電量は 1 日どのくらいか。
- 岡南環境センターが年間 800 万 kW で、広域処理施設については、2,000 万 kW 程度は可能であろうと考えていますが、実際の発電量は事業者提案となります。
- 地域住民の家庭に電気をタダで配れないのか。蓄電池を置くなどして。それか中国電力の電気料金を安くしたり出来ないのか。岡山市は中電からわしらより半分くらいの値段で買っているんだから。
- 広域処理施設においては事業者に 19.0%以上のエネルギー回収率を要求しますが、公共施設への蓄電池設置については、使用量や容量等から考えていかなければなりません。また、発電した電気については岡山市の公共施設への自己託送を考えており、残り分については売電し収入を得るということで検討しています。広域処理施設から地域の個人の方へ電力を供給することは電気事業法上も電気事業者にならなければなりません、その想定はありません。
- 売値が買値に比べ安く買ったたかれるくらいなら地域住民に配れば良い。
- 焼却施設ではごみ種により再生エネルギーとなるので、通常の単価より高く売れるということもあります。
- 蓄電池は常に満タンではないのではないかと。
- 常に満タンになります。
- 避難場所として備蓄などもすることとしており、整備・運営を事業者任せるとのことだが、災害時に避難所の運営も任せるということを要求することができるのか。
- 可能であると考えています。
- 高齢者に優先的に利用してもらえたらと考えているので、バリアフリー、移動対応等検討してほしい。
- 出来ることは検討していきたいと思えます。
- 岡南環境センターの見学は出来るのか。
- 出来ます。見学の際には申込書を書いていただきます。
- 蒸気タービンが壊れた時に焼却炉が停まることにならないか。
- 蒸気利用ができない部分が出てくるので、運転調整は必要になるかと思いますが、焼却炉自体は運転できます。

- 地域住民にメリットはないのか。気軽に来られるようにしてほしい。また、焼却施設を作るときにはこのような説明会をすることが義務化されているのか。この説明会の位置づけがよくわからない。決裁は不要なのか。
- 法律的にはごさいませんが、地元の皆様のご理解を得ながら進めていきたいと考えています。
- 地元でメリットが欲しい。中電に売電するんだから、地域の電力を安くするような交渉をしろ。それがあんたらの仕事だ。汗をかいて努力をしろ。
- 地域の皆様方には色々ご意見を頂戴して、その中で岡山市として地域の方に対して物理的要因や制度、財政面の制約などにより、どういったことができるのか、できないのか、電気に限らずどのような方法があるか考えています。引き続きご理解いただきますようよろしくお願いいたします。